



風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校
令和5年5月2日

♡ 相生は愛いっぱい ～ともに未来を創る～

学び合い（愛） 認め合い（愛） 鍛え合い（愛） 支え合い（愛） ♡

校長 鈴木 晶子

風薫る5月。令和5年度がスタートして約1か月が経とうとしています。1年生93人が加わり、557人の子供たちの元気な声が校内に響いています。『風の子』は、あきらめない、たくましい心と体を持っていろいろなことに挑戦していきます。『太陽の子』は、みんなのルールを守り、互いの良さを認め合う太陽のような温かい心をもっています。自分はどんな『風の子、太陽の子』になりたいか、『なりたい自分の姿』を思い描き、今の自分が未来の自分につながっているということを感じ、「キャリア・パスポート」に1年の目標を書きました。学校と家庭と地域の皆さんと一緒に、子供たちの成長を見守っていききたいと思います。御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

また、始業式では、「次の3つをがんばっていきましょう。」と話しました。

一つ目は、「学び合う」ということです。学校生活の多くは授業です。やってみよう！おもしろそうだ！とやる気をもって学んでいきましょう。「今これができないからできるようにしたい」「自分のこんな点をもっと伸ばしたい」など、なりたい自分の姿を思い描き、目標をもってあきらめずに挑戦してください。友達の意見をよく聴き、自分の考えに生かしたり、一緒により良い方法を考え出したりして、楽しくみんなで学び合いきましょう。

二つ目は、「認め合う」ということです。4月、5月、6月の出会いのステージで特に大事にしてほしいことは挨拶です。挨拶は、相手を認め、相手に思いやりの気持ちを表すとても大事なことです。特に、ありがとう・ごめんなさい・おはようございます、これができるこそ、相生小の子供です。朝起きたらおうちの人に、通学路で旗振りをしている人に、学校の先生や友達に、出会う方に、自分から進んで気持ちの良い挨拶をしていきましょう。先に言われたら、「きちんと返す」これも大事なことです。

三つ目は、「鍛え合う」です。友達と遊びや運動に力一杯取り組むことはもちろん、「みんなのルールを守っていくこと」を大切にしていきたいと思います。相生小には、557人の子供たちが集まっています。その集まりは子供同士の小さな社会です。わがままや自分勝手な行動は許されません。人を傷つける言動も絶対してはいけません。学校では、皆さんが大人になって社会に出ていくための準備をしています。自分の学級をよりよい学級に、自分の学年をよりよい学年に、そして、よりよい相生小学校になるように、みんなで知恵を出し合って計画し、創り上げていきましょう。大人になったとき、よりよい家庭を、よりよい社会を創っていくことにつながります。心も体も健康で、気持ちよく過ごせるように、みんなのルールを守って鍛え合って生活しましょう。



保護者の皆様・地域の皆様と心を合わせて、職員一同全力で教育活動に取り組ましますので、今年度も御支援を賜りますようお願い申し上げます。（「支え合い」）



浜松市立相生小学校
キャリア教育を
推進しています。